

プランのめざす姿：「全ての子どもが豊かに育ち、将来にわたって幸せな状態で生活することができる三重」の実現

基本的施策／現状と課題	令和8年度の主な取組内容
子どもの安全・安心の確保	<p>①子どもを虐待から守る条例に基づく推進計画により取組を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利擁護の推進、人材育成、警察等関係機関との連携強化及び体制づくり ②一時保護された子どもの生活環境の改善に向け、老朽化が進む北勢児童相談所（一時保護所）の計画的な整備が必要 ③子どもの権利が侵害された場合に救済を図るために体制整備 ④いじめ等の問題に対し、子どもたちの育成に向けた学校と保護者との連携がうまくいかない事案があり、信頼関係を再構築する仕組みが必要
子どもの権利について学ぶ機会の提供	<p>①子ども条例、子どもの権利の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条例や子どもの権利について大人も子どもも分かりやすく学べるパンフレット（多言語）を活用した啓発 ・子どもに関する施策の情報（子どもの権利に関する学習コンテンツ等）を一元化したポータルサイトの整備【再掲】
子どもの育ちへの支援	<p>①みえ子ども・子育て応援総合補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの枠組み（自由枠）を継続し、自己肯定感などの子どもの育ちや子育て環境の充実につながる取組を支援 ・「仕事と子育ての両立支援」枠を設置し、保育士確保など、地域の特性に応じた効果的な市町独自の取組を後押し ・先駆的で子育て家庭への支援効果が高い、「働く子育て世帯を支える子どもの居場所づくり」について、新たな補助制度を創設し、横展開を促進 ②・子ども食堂や体験活動などを実施する団体に対しての補助金について、補助上限額を引き上げ <ul style="list-style-type: none"> ・中高生世代を主な対象とした、キッチンカー等を活用した移動式の居場所づくりをモデル的に実施 ・子どもに関する施策の情報（子どもの居場所等）を一元化したポータルサイトの整備【再掲】 ③フリースクールに対する運営支援の補助上限額を引き上げ ④・校内教育支援センターの設置促進（小中の指導員配置、指導員研修） <ul style="list-style-type: none"> ・フリースクールの利用者支援 ⑤ヤングケアラーを対象としたLINE相談窓口を開設、当事者や支援者向けの交流会を実施 ⑥国児学園について、令和7年度の詳細設計に基づき、寮舎等建替え工事に着手 ⑦プレコンセプションケアに関するセミナー、産婦人科での検査の費用助成、検査結果をふまえた医師からのアドバイスの3つを一体的に実施
子どもの意見表明及び社会参画の推進	<p>①子どもの意見表明・社会参画の機会創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みえっこ会議の開催（150周年記念事業）、キッズモニター+（プラス）の実施 ・子どもに関する施策の情報（イベント、子どもの意見表明等）を一元化したポータルサイトの整備【再掲】
子育て家庭への支援	<p>①5歳児健診実施に向けた市町への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町保健師等を対象に、5歳児健診実施に必要なスキルを身につけるための研修（グループワーク）を実施 ・医師を確保することが困難な市町に対して、医師派遣を支援するとともに、派遣医師に対して研修を実施 ②育児の役割分担や、結婚・妊娠・出産の希望がかなう三重の実現 ③保育士の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・中高生を対象に、保育の仕事体験や現役保育士と交流する機会を提供し、保育の魅力を発信 ・臨床心理士による1対1のカウンセリングを行い、職場での人間関係や保護者対応などの悩み解消に向けたアドバイスを実施 ・実際に復職した元潜在保育士へのインタビューや復職へのプロセスをまとめた動画等を作成し、復職に向けて後押し ・地域限定保育士制度の導入 ・市町独自の保育士確保の取組を後押し（みえ子ども・子育て応援総合補助金（「仕事と子育ての両立支援」枠）） ④子ども医療費補助金について、新たに中学生通院医療費を対象に拡大
若者支援	<p>①みえ出逢いサポートセンターの体制を拡充。マッチングシステム「みえむすび」（R8.2運用開始）の周知・広報による利用促進、出会いの機会の拡充</p> <p>②ひきこもり支援の認知度が低いことや公的機関に相談することにハードルを感じる方、当事者同士の交流の場を求める声</p>